

「基本目標3 生涯学習の充実」に関する事業

(1-1) 点検・評価表

3-1 多種多様な学びの機会の提供

3-1-1 社会の様々な学習ニーズに対応した公民館事業を推進します・・・56

3-1-2 市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスの
充実を図ります・・・57

3-2 さまざまな世代の参画と交流機会の提供

3-2-1 市民が共に学び合う場を創出します・・・58

3-2-2 社会教育関係団体の自主的、自発的な活動を支援します・・・59

3-3 生涯学習施設の利用促進

3-3-1 生涯学習施設が十分な機能を保持するように努め、利用を促進
します・・・60

3-3-2 まちづくりの拠点として、カレード、カミーノの積極的活用を
図ります・・・61

令和6年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和5年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 1 多種多様な学びの機会の提供
 具体的施策 3-1-1 社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・ 公民館自主事業（寿大学校・大学院、各地区公民館・女性センターの講座等）の実施
- ・ 公民館・女性センターサークル会員募集チラシの発行
- ・ ののいちマナビィフェスタ2023の実施
- ・ 郷地区運動会代替事業としてペタンク大会の開催（本町、富奥、押野地区は雨天中止）
- ・ 現代的なテーマの学習講座として、高齢者向けデジタル機器活用講座の開催

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民のニーズや地域課題に合った学びの機会を提供し、貸館利用者数や施設来館者数が増加した。 ・ 地区運動会（代替事業）を実施したことで、幅広い世代の交流を生むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の学習ニーズや地域課題は常に変化していくことから、継続的にその把握に努め、さらに魅力のある主催事業が開催できるよう公民館・女性センターを支援していく。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	目標値（R13）
3-1-1	生涯学習施設における主催行事の開催数	回/年	114	148	158	160

（3）今後の展望

- ・ 新たなニーズや地域課題の解決に努め、市民の学びを支援していく。
- ・ サークル会員募集チラシの発行により、サークル活動の周知と新規会員の募集、また、新規のサークル登録に向けた取組を行う。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		多くの市民に利用されていることから、今後も市民のニーズに応えられる主催事業を開催していく。

令和6年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和5年度実施事業分）

(担当課) 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 1 多種多様な学びの機会の提供
 具体的施策 3-1-2 市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービス充実を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・レファレンスサービス、生活に密着した情報の提供（ヤーコン収穫祭、「ごみ」と「環境」パネル展特別展示等）
- ・子どもの読書活動の推進に資する取組の実施（市内の子どもの読書に関わる施設等との連携による「ののいち子ども読書の日」のイベント、図書館を使った調べる学習関連事業等）
- ・読書に関わるボランティアの活用（ボランティアによるおはなし会の開催）
- ・市民学習センター事業の実施（各種教室・講座（市民歴史講座、かがく実験教室、料理教室等）、映画上映会、展示会（地元の鉄道に関する展示、市内在住彫刻家の作品展、陶芸教室生徒作品展）等）
- ・能登半島地震の被災者を対象とした取組（特例の利用者カード発行、地震に関する図書展示、市内避難所への配本、市内避難所の入所者を対象とした催し等）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・大人向けの料理教室を新たに増やし、利用者のニーズに応えることができた。 ・利便性の高い図書館サービスと市民学習センターの諸室を活用したイベントを行い、来館者が前年度より増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとっての利用しやすさを重視したサービスが行われるよう、事業者に対し、必要な協力・支援を行っていく。 ・カミーノやフォルテをはじめとした旧北国街道周辺の施設と連携し、野々市中央地区のにぎわい創出に資する事業を実施する。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4実績値	R5実績値	目標値 (R13)
3-1-2	市立図書館貸出冊数（電子書籍含む）	回/年	533,094	583,710	556,922	676,000

（3）今後の展望

- ・新たなニーズの把握に努め、市民にとって使いやすい施設となるよう、運営事業者に働きかけを行っていく。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		多くの市民に利用されていることから、今後も蔵書や行事の新鮮さに気を配りながら、現状維持に努める。

令和6年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和5年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供
 具体的施策 3-2-1 市民が共に学び合う場を創出します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・「ののいちコミュニティカレッジ」の実施（年間16回 参加者数：延べ1,091人）
 講座テーマ：「お芋だけではないサツマイモの可能性～オール野々市で作るサツマイモの花の蜂蜜～」
 「ほんとうの幸せってなんだろう？～『幸せの法則』（著書）より～」等

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・「ののいちコミュニティカレッジ」において、より幅広い世代に向けた講座として、親子を対象にKITむしの会の方を講師とした講座と生体展示を行い、受講生にいのちの大切さを学ぶ機会を提供した。そのことにより、展示中に受講生同士の会話が生まれ、互いに教え合う姿が見られた。	・講座の企画運営は公募による委員で構成されている企画委員会が行っている。今後も継続して幅広い世代向けの講座を企画・開催していくため企画委員会への支援を行っていく。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4実績値	R5実績値	目標値 (R13)
3-2-1	学びのサポーター登録者数	人/年	25 (R2)	26	25	55
3-2-1	市民大学校事業の参加者数	人/年	624 (R1)	353	1,091	800

（3）今後の展望

・今後も継続して幅広い世代が参加できるような講座を開催していく。

■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		今後も継続して幅広い世代の市民のニーズに応えられる講座の企画に努める。

令和6年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和5年度実施事業分）

(担当課) 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供
 具体的施策 3-2-2 社会教育関係団体の自主的、自発的な活動を支援します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・社会教育関係団体への補助金交付

■施策のまとめ

(1) 教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・地域の活動に参画し、世代間交流や地域の課題を地域で解決する活動を行っている団体に対し支援を行ったことにより各団体が自主的、自発的に活動することができ、地域社会の活性化や幅広い世代間の交流に貢献した。 ・能登半島地震の市内避難者への炊き出しなどの支援活動につなげることができた。	・行政と団体が対等なパートナーシップを構築していく必要がある。

(2) 成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4実績値	R5実績値	目標値 (R13)

(3) 今後の展望

・各団体が今後も自主的、自発的に活動を継続できるように支援し、必要に応じて新規の団体への支援も検討する。

■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他 (縮小・廃止など)	理由
C	C		各団体の活動には、継続した支援が必要であるため。

令和6年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和5年度実施事業分）

(担当課) 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 3 生涯学習施設の利用促進
 具体的施策 3-3-1 生涯学習施設が十分な機能を保持するように努め、利用を促進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・学びの杜ののいちカレード、にぎわいの里ののいちカミーノ、富奥防災コミュニティセンター、郷公民館、押野公民館、女性センターの計画的な維持管理。

■施策のまとめ

(1) 教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の維持管理を行い、利用者が安心、かつ便利に施設を利用できる環境を維持したことで、施設の利用者が増加した。 ・インターネットで公民館・女性センターの貸館の仮予約ができるシステム（いしかわ施設予約サービス）を導入し、利便性を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設が十分な機能を保持するよう努めるとともに、カレード、カミーノ以外の生涯学習施設においてICT環境の利活用を促進していく必要がある。

(2) 成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4実績値	R5実績値	目標値 (R13)
3-3-1	公民館、市民学習センター（カレード）、女性センター利用者数	人/年	94,213	154,573	160,308	200,000

(3) 今後の展望

・利用者が安全かつより便利に施設を利用できるよう、適切に施設を維持管理していく。
 ・カレード、カミーノにおいては、今後も継続して利用者にICT環境を活用いただけるよう支援していくとともに、他の生涯学習施設においてもICT環境の利活用が進むようWi-Fi環境が整備されていることを周知していく。

■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他 (縮小・廃止など)	理由
C	C		生涯学習施設の計画的な維持管理を行うとともに、より便利に施設を利用できるようにしていく。

令和6年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和5年度実施事業分）

(担当課) 生涯学習課

- 基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 3 生涯学習施設の利用促進
 具体的施策 3-3-2 まちづくりの拠点として、カレード、カミーノの積極的活用を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・地域課題の解決に向けた事業
 カレード、カミーノを活用したにぎわい創出のイベント（カレフェス等）
 にぎわい創出事業企画推進協議会による野々市中央地区のにぎわい創出事業（季節の展示、クイズラリー等）
 旧北国街道周辺施設との合同の催し（カミーノ・カレード・フォルテの3施設を巡るクイズラリー、カミーノ、郷土資料館、喜多家住宅、カレードでのひなまつり展示）
- ・市民協働を推進するための事業
 市民活動センター登録団体の活動支援及び交流会

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・カレードやカミーノを活用した、市民団体等が運営する様々なイベントが開催されたことにより、多くの人が来場し、野々市中央地区のにぎわいが創出された。	・市民にとって、カレードやカミーノがより使いやすい施設となるよう、施設運営の関係者の間で調整を行っていく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4実績値	R5実績値	目標値 (R13)

（3）今後の展望

- ・市民によるイベント等でのカレードやカミーノ活用機会の拡大を図る。
- ・様々な活動を行う市民の交流を促すとともに、近隣施設と連携していく中で、まちづくりの新たな取組の創造につなげる。

■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
A	A		カレードやカミーノを会場とした様々なイベントが多数開催されており、今後も需要の拡大が見込まれる。

(3-2) 学識経験者からの意見

・カレード、カミーノを活用したイベントが数多く開催され、多くの人々が来場し、これまで以上に中央地区に賑わいが創出されており、順調に望ましい方向に進展していると評価されます。今後は、郷土資料館や喜多家住宅などの旧北国街道周辺施設とのよりいっそうの連携や市民活動センター登録団体等の活動への支援やカレード、カミーノでの事業に連携してもらう等により市民協働のまちづくりとしての推進も期待します。

・公民館の寿大学校・大学院、各地区公民館、女性センターにおける数々の講座等とサークル活動そしてコミュニティカレッジ（市民大学校）の講座等、生涯学習の機会が数多く提供されています。また、それぞれの機関が独自色を出しながら事業を実施しており多くの市民が参加しているようであります。生涯学習施設による主催事業の開催数は伸びており、コミュニティカレッジの事業への参加者数も増加しており評価できます。今後も、変化する地域課題や幅広い年代の市民のニーズの把握に努めつつ、生涯学習の機会を提供していただきたい。

・社会教育関係団体が自主的に能登半島地震の市内避難者に対して炊き出しなどの支援活動にあられたこと、図書の貸し出しなど被災者に寄り添った活動がなされたことは特筆すべきことと考えます。今後も各団体の自主的、自発的な活動に対する支援をお願いしたい。

(3-3) 今後の方針

・様々な地域課題や市民ニーズを常日頃から把握し、それに応じた取組を、公民館事業、図書館事業などを通して実施していきます。

・コミュニティカレッジ等の講座には、幅広い世代の方にとって関心の高いテーマを取り入れ、より多くの方が参加する事業となるよう工夫していきます。

・地域課題の解決に向けて取り組む社会教育関係団体の活動が円滑に行われるよう、団体の自主性・自発性を尊重しながら支援していきます。

・旧北国街道周辺の施設と連携しながら、市の賑わい創出事業の推進を図ります。また、市民にとって、カレードやカミーノがより使いやすい施設となるよう、施設運営関係者間の調整を行います。